





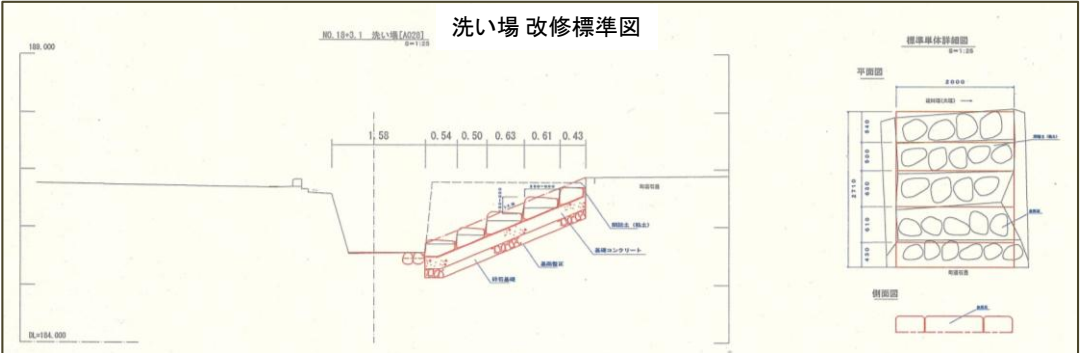
**平成26年度進行管理・評価シート**  
**甘楽町歴史的風致維持向上計画（平成22年3月30日認定）**  
（最終変更平成27年2月27日）

**口進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画推進に向けた庁内の連携体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		—
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 小幡公園整備事業(修景施設整備)	.....	2
2 雄川堰整備事業	.....	3
3 松浦氏屋敷保存・修理事業(旧小幡藩武家屋敷)	.....	4
4 下町組合事務所保存・修理事業	.....	5
5 案内板等整備事業	.....	6
6 地域コミュニティ組織づくり事業	.....	7
7 歴史まちづくり(歴史・文化・景観)講演会	.....	8
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・指定について	.....	9
2 文化財の保存・防災	.....	10
3 文化財の普及・啓発	.....	11
4 重点区域における伝統的建造物群保存地の制度の導入に向けた取組み	.....	12
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 絹産業を支えた地元遺産ほか	.....	13
⑥その他(様式1-6)		
1 地域ぐるみでの歴史的水路(雄川堰)の保全・活用に関する調査	.....	15
<b>口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)</b>	.....	16

評価軸①-1 組織体制	
項目	評価対象年度 平成26年度 現在の状況
計画推進に向けた庁内の連携体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 甘楽町歴史的風致維持向上計画推進会議及び同計画推進プロジェクトチーム、各事業者との連携を図りながら適切に計画を推進する。計画掲載事業の進捗状況の確認、評価を行い、定期的な報告、意見の聴取等を実施し、実効性を高めるとともに、必要に応じた計画変更を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
振興課、企画課及び社会教育課からなる甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会及び庁内各部署からの職員で組織するWSでの意見聴取により事業の進捗管理・評価について協議を行ってきた。特に重点区域内で実施されている事業並びに今後実施が予定される事業については、まち歩きを実施しながら町の歴史的風致の維持及び向上のための施策への理解と今後の事業展開に対する提案のとりまとめを行った。また、事業手法の中心となっている都市再生整備計画の事後評価を行った。	
進捗状況 ※計画年次との対応 <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 町機構改編により、振興課内の建設係、都市計画係で構成した振興室はH25年度をもって解消となったが、引き続き組織体制の維持強化を図るため、庁内各部署からの職員補完によりワークショップ形式による協議体制を整えた。
状況を示す写真や資料等	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         H25. 4  <b>【企画課】</b>                          企画調整係: 3名  <b>【振興課(振興室)】</b>                          都市計画係: 5名                          建設係: 4名  <b>【社会教育課】</b>                          文化財保護係: 2名                     </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         H26. 4  <b>【企画課】</b>                          企画調整係: 3名  <b>【振興課】</b>                          都市計画係: 4名                          建設係: 1名                          商工観光係: 2名                          農林係: 1名  <b>【社会教育課】</b>                          文化財保護係: 3名  <b>【その他部局】</b>                          行政、財政担当ほか: 5名                     </div>
 <p>■策定委員会及びまちづくりWS</p>	<p><b>甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会の執行状況</b></p> <p>第1回 平成26年 6月20日                      ・今年度の事業推進について</p> <p>第2回 平成26年 7月28日                      ・来訪者アンケート実施について</p> <p>第3回 平成26年 9月 9日                      ・来訪者アンケート(第1回)集計結果報告について                      ・今後の計画(後期)の事業展開について</p> <p>第4回 平成26年10月17日                      ・今後の計画(後期)の事業展開について</p> <p>第5回 平成27年 1月23日                      ・来訪者アンケート(第2回)集計結果報告について                      ・推進計画(素案)について</p> <p>第6回 平成27年 3月 6日                      ・推進計画策定について</p>
 <p>■事後評価委員会(H27.02.10)</p>	<p><b>事業手法の事後評価について</b></p> <p>第1回庁内検討会 平成26年11月26日                      ・事後評価について</p> <p>第2回庁内検討会 平成26年12月19日                      ・事後評価原案について</p> <p>事後評価委員会 平成27年 2月10日                      ・事後評価について</p>

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
小幡公園整備事業(修景施設整備)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	甘楽総合公園、遊歩道「せせらぎの路」と一体的に利用できる一級河川雄川沿いに区域面積0.6haの小幡公園を整備し、小幡地区散策の拠点及び来訪者との交流の場として機能強化を図り、区域内の景観や回遊性・利便性の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度の公園整備により、小幡地区散策の拠点および来訪者と地域住民との交流の場として機能している。また、住民団体とのWSや庁内調整会議において、小幡公園東面の景観整備を要望する意見が多く寄せられたことから、今後さらに良好な景観の創出と保持について検討を行い、回遊性の向上、利便性の向上を図るための老朽建造物の除去と施設整備計画を進めてきた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	回遊性及び景観の向上のため、事業期間を延長して整備を進めていきたい。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>■対象建造物撤去前(小幡公園・西より)</p>		 <p>■対象建造物撤去後(小幡公園・西より)</p>	
 <p>■修景整備計画(案)</p>			

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
雄川堰整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成31年度		
支援事業名	農山漁村地域整備交付金(地域用水環境整備事業)		
計画に記載している内容	町の歴史的風致の中核をなす雄川堰(大堰)の石積み改修を行うことにより、雄川堰の保存・活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度は、重点区域内の雄川堰・洗い場(3箇所)の風致維持向上のための保存修理を行ったほか、大学研究室との連携による雄川堰(小堰)の改修実践による歴史遺産の啓発などにも取り組んだ。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	住民の洗い場等の修繕に寄せる期待は大きい。また、ワークショップ等を通じて、雄川堰の資産価値を啓発していく必要性などの意見も寄せられている。雄川堰に架けられた橋の修復には、設置位置などを含め、景観に配慮したものとしていくため、住民との協議が大切となってくる。		
状況を示す写真や資料等			
<洗い場1/整備箇所:A012>		<洗い場2/整備箇所:A014>	
■石積み・改修前          ■石積み・改修後			
			
			

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
松浦氏屋敷保存・修理事業(旧小幡藩武家屋敷)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(H25～H26:都市再生整備計画事業、街なみ環境整備事業:H27～H29)		
計画に記載している内容	武家屋敷地区にある松浦家は、武家の屋敷構えを良好に残し雄川堰の地割と一体となっている。江戸時代の武士の生活環境と当該地域の歴史を知る上で極めて重要な資源である。所有者の理解を得て一般公開しており、保存修理及び耐震改修を行うことで、武家屋敷群の充実化が図られるとともに見学を目的とした来訪者の増加が期待できる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度に発足した有識者等からなる整備検討委員会において保存・改修の基本方針が決定された。主屋、庭園ともに発掘調査を行った結果により、江戸時代後期の形態に復原修理による整備を行うこととして、その実施設計を行った。また、庭園部の池については、戦前の原形に近い形状が確認された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業推進のため期間を延長し、平成27年度より「街なみ環境整備事業(住宅局)」により実施したい。		
状況を示す写真や資料等			
■松浦氏屋敷整備委員会開催状況 		■整備委員会現地確認(H26.10.01) 	
■庭園部発掘調査状況■			
			
■整備計画図 	屋外整備計画図 S1/100 (A1) S1/200 (A2)		

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
下町組合事務所保存・修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	下町地区の情報発信拠点、祭礼などの住民交流の場として利用され、養蚕農家群の北端、重点区域の北玄関口に位置することから、良好な景観を形成する建造物である。建物の保存修理及び耐震改修を行うことで、歴史的建造物の保存、活用が推進されるとともに来訪者の増加が期待できる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度2月、3月の豪雪により、屋根が大きく損傷したほか、漆喰壁なども剥がれ落ちた箇所が随所にみられるようになってきていた。また、県道の歩道に面していることから、通学児童、生徒の通行にも支障をきたす状況にあり、地域からは早急な修繕が望まれていた。現在は保存・修理により町屋地区(重点区域)玄関口の良い景観に寄与している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
<b>■ 下町組合事務所(改修前)</b> 		<b>■ 破損等状況(屋根瓦)</b> 	
		<b>■ 破損等状況(野地板の老朽・雨漏)</b> 	
<b>■ 保存・修理状況</b> 			

評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	

案内板等整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------	--	---

事業期間 平成25年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の周辺等、重点区域の主要な地点に案内板や情報板を設置するで、住民や来訪者に建造物への理解を深めてもらうとともに、施設間のネットワーク形成、回遊性向上による歴史的風致の維持向上に寄与させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度は、町外からの小幡地区(重点区域)誘導・案内板設置のほか、町指定重要文化財標柱設置などにより、来訪者の増加に寄与し、歴史的風致に対する認識が深められた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の課題として急速に整備を進めたため、平成21年度に整備した案内板等に反映されてない公共施設等もあり、情報更新に努める。
--	---

状況を示す写真や資料等

■小幡地区(重点区域)への誘導案内板設置状況



■歴史的風致形成建造物 表示板



評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
地域コミュニティ組織づくり事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業の提案事業)		
計画に記載している内容	小幡地区において、行事やイベントなどの実行委員会を組織する中核的なコミュニティ組織を育成、向上のためにWS等を開催していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域住民により組織される団体の参加による、歴史・文化や景観を考えるワークショップ等を開催した。2団体を対象に4日間(平成26年7月28日、9月8日、10月17日、平成27年1月23日)、計4回開催。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	来訪者と直接的に接することが多い団体とのWSでは、来訪者の動向や意識などを意見交換の中で確認でき、事業推進には欠かせない要素であるため、単独事業としても継続実施していくことが望ましい。 状況を示す写真や資料等		
<p>■地域コミュニティWS(楽山園友の会)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>平成26年7月28日 参加者29人</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>平成27年1月23日 参加者26人</p>  </div> </div> <p>■地域コミュニティWS(観光案内の会)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>平成26年9月8日 参加者13人</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>平成26年10月17日 参加者17人</p>  </div> </div>			

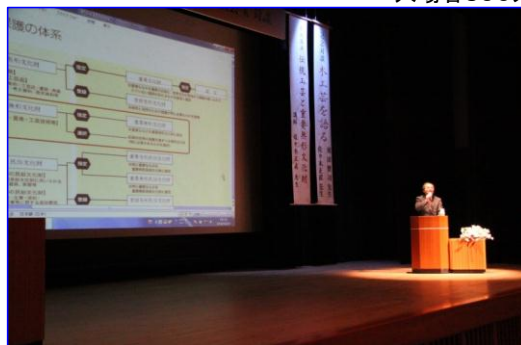


評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり(歴史・文化・景観)講習会		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成26年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	町の文化財及び歴史等について講習会を開催し住民の啓発に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
講演会等の開催により住民の歴史・景観・文化財等に関する意識と、これらの資産・遺産を活かしたまちづくりへの関心が高まっている。本年度は、関東圏歴史まちづくりサミットのほか、平成26年度重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された、町内在住・須田賢司氏、県立館林美術館長・佐々木正直氏による講演会を開催することにより、歴史、文化事業への啓発が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	町の資産である歴史的風致、歴史的な建造物及び良好な景観などは、人の営みや自然環境も含めて多岐分野にわたるため、今後、更に多くの人々に認識してもらうため、事業期間を延伸する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

■関東圏歴史まちづくりサミット(平成26年10月15日)  
入場者320人



■伝統工芸・重要無形文化財 講演会(平成26年12月7日)  
入場者390人



評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財の調査・指定について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	未指定の文化財については、分野別に調査・研究を行って実態の把握に努めるとともに、調査・研究によって得られた知見に基づいた価値づけを行い、町指定の文化財として指定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の調査・指定について文化財調査委員や郷土史研究会と協力して、定期的に地域の文化財を巡視し未指定文化財の指定に向けての調査を進めているとともに所有者等の要請に基づき文化財の保存状況の確認や文化財調査委員による指導を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
<p>■ 指定文化財管理保存状況現地調査</p>  <p>○文化財の巡視 町職員:平成26年4月2日 県文化財指導員:毎月</p> <p>○指定文化財管理保存状況現地調査 (町文化財調査委員)</p> <p>実施日:平成26年7月25日(9人) 平成26年10月16日(9人) 平成27年3月3日(9人)</p>			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
文化財の保存・防災		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財は、当町の歴史や文化を正しく理解するために必要なものであるとともに、地域の歴史や文化を発信するための貴重な資源である。このため、文化財を適切に保存しつつ、活用を図ることは重要なことであるため、積極的に推進する。  
 甘楽町防災計画や総合計画を基本に、防災体制を整えるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「国指定名勝楽山園消防計画」を策定(平成26年6月5日)したほか、消防団による文化財周辺の水利確認や夜間の警戒巡視による予防消防に努めると共に、有事の際に備えた地域防災訓練が小幡地区(重点区域)内で実施された。文化財近隣においては、自治会住民による消防援助隊も組織されており、地域全体で文化財を保存していく活動により住民意識の向上が図られた。  
 その他、町では(毎年)1月26日の文化財防火デーに合わせて、文化財に関わる職員の防火訓練を実施し、防災意識の向上を図った。また、地域で保管管理する重要無形民俗文化財の修繕、新調などの支援により、文化財の保護・継承にも成果を上げた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし

状況を示す写真や資料等

- 重要無形民俗文化財用具修繕・新調
  - ・「ニツ石組獅子舞」
  - ・「十二区下盛羽流獅子舞」
- 平成26年10月2日



- 消火訓練
  - 消火器具の使用方法講習を受ける近隣住民と施設職員
- 平成27年1月26日



評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	現在、ほとんどの指定文化財には、広く文化財に対する理解を得るため説明板を設置している。また、『甘楽町の文化財』などの啓発的な冊子を頒布して住民への周知を図っている。一般公開されていない指定文化財は、所有者と協議し、期間限定で公開するなどの従来行っていなかった方法を模索し活用を進めている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域の財産である文化財を住民とともに守り継承するため住民ボランティアを募集し、研修を通じて啓発に努めた。また、町指定文化財に理解を深めてもらうため名勝楽山園の夜間特別公開を実施。また、11月3日に民俗芸能大会を開催し、古くから伝承されている重要無形民俗文化財の発表の場を設けた(毎年開催)。なお、文化財の活用については、文化財ボランティア組織等と協力し文化財の一般公開を進めるとともに催事等においてもその舞台として積極的な利活用を図った。教職員の文化財めぐりは、町内小中学校の生徒・児童に対して、町の歴史、文化を身近な教材として紹介することで、普及活用できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
		<b>■名勝楽山園 お月見会</b> 文化財理解を深めるため、夜間特別公開(投句会、茶会なども開催) 平成26年9月8日 入場者数366人	
		<b>■民俗芸能大会</b> 獅子舞、神楽舞など、14団体、291人が出演し伝統芸能を披露した。本大会が伝統芸能の保護、後継者育成の場ともなっている。 平成26年11月2日 入場者約1,100人	
		<b>■歴史民俗資料館・特別展</b> ・「100年前の色彩がよみがえる引き札展示会」 平成26年1月15日～5月25日(131日間) ・「絹産業をささえた道具たち」 平成26年6月10日～11月30日(174日間)	
		<b>■教職員文化財めぐり</b> 甘楽町に新たに赴任してきた教職員を対象に文化財めぐりを実施。地域の貴重な文化財や歴史を授業教材として取り上げるための事業 平成26年8月5日(参加者20人)	

評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
重点区域における伝統的建造物群保存地区制度の導入に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	小幡・町屋地区の伝統的建造物が連なるについては、早急に伝統的建造物群調査を行い、作成される保存計画に基づき、各種事業を導入し、計画的に保存を進めるものとする。同時に町独自の補助制度等を制定し、必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内においては、後継者が減少する中であるが、若い世代でも町屋地区の景観を形成する養蚕農家を修繕して残していきたい考えをもっており、支援策などの問い合わせが数件あったほか、ごく小規模な修繕であるが、景観に配慮した修復を自費で行った事例も見受けられた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当初調査からの時間経過も考慮し、まち並み、建物の現地再調査を行い、関係機関の指導のもと住民が主体となった体制を構築していかなければならない。 当該地区における無電柱化や広告類などの景観整備、中央を北流する雄川堰の石積みや架橋の保存改修整備などを含め、来年度より新たに意見交換を積極的に取り組んでいくこととした。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
絹産業支えた地元遺産 甘楽町歴史民俗資料館	H26.6.28	上毛新聞
日本の庭園100選 甘楽「楽山園」	H26.8.20	産経新聞
大名気分で名月望む 甘楽・楽山園ライトアップ	H26.9.10	上毛新聞
甘楽・雄川堰 かんがい遺産に選定	H26.9.17	上毛新聞
甘楽・雄川堰 世界が価値認める 保全の意識向上、活性化にも期待	H26.9.19	毎日新聞
「かんがい施設遺産」伝達式 甘楽・雄川堰に登録証	H26.10.24	上毛新聞
歴史まちづくり連携 甘楽で初サミット 関東圏9市町が宣言	H26.10.16	上毛新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存と活用、歴史まちづくり事業のアナウンスに関しては、報道による周知が効果的であるため積極的に情報発信している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	積極的に情報発信したことにより、報道等で取り上げられ歴史的風致に興味を持つ来訪者が増えた。今後は、観光案内ボランティア等の受け入れ態勢の強化資質の向上を図るとともに必要があり研修会等を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

▼平成26年6月28日 上毛新聞



▼平成26年9月10日 上毛新聞



▲平成26年8月20日 産経新聞



評価軸⑥-1  
その他

評価対象年度 平成26年度

項目

地域ぐるみでの歴史的水路(雄川堰)の保全・活用に関する調査

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

小堰においては、国土交通省「歴史的風致維持向上推進等調査(H24)」事業により、住民並びに日本大学理工学部などの協力を経て、その保存・活用にあたっての方策を検討しながら、石積みの改修技術を復活させる検証を行い、石積みの技法、構造等を解明してきた。技術的にも価値の高い歴史文化遺産であるが、雄川堰(大堰)に比べるとその認知度が低い状況にあった。しかし、平成25年度、26年度と日本大学の構造・デザイン研究室の研究テーマとして取り上げられ、現地での研究を進める中で地域住民の見学者も増え、関心の度合いが増してきている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり  
□計画の進捗に影響なし

今後の整備における工事見学会や継続した大学研究テーマ採用などにより、二次製品化した水路の復元などと併せて、小堰の持つ遺産価値を啓発して行く必要がある。

状況を示す写真や資料等

■小堰石積み

▼ 改修前



▼ 改修後

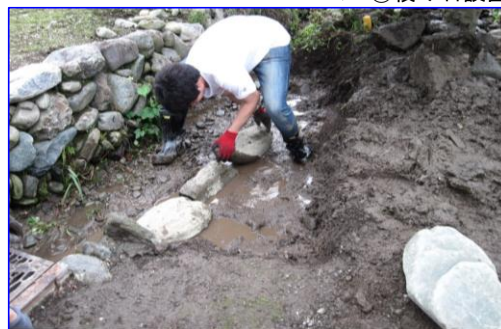


■作業状況

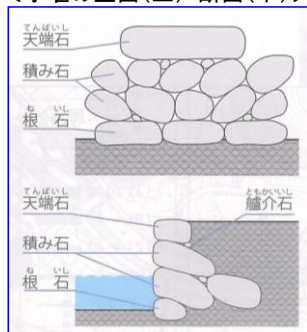
▼ ①根石設置



▼ ②積み石設置



<小堰の立面(上)・断面(下)>



▼ ③天端石設置





評価対象年度	平成26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 都市再生整備計画事業・事後評価委員会	
会議等の開催日時: 平成27年2月10日	
(コメントの概要)	
<p>・重点区域における歴史的風致維持向上のための整備及び管理(松浦氏屋敷保存修景、修景施設整備、雄川堰整備など)は、順調に進捗している状況にある。協議会と庁内検討体制との連携により、適時性を担保しつつ適切に事業実施にあたっており、各事業が相乗的な効果を生んでいる。また、地域の中核的コミュニティ団体との継続的な啓発事業・協力依頼の機会づくりを行い、整備された施設の有効的な活用や施設の維持・管理にもつながることが期待できる。</p> <p>・平成26年度においては、富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録されたことを受け、派生的に甘楽の歴史的な環境に関心をもつ来訪者の増加を生んだ。これは甘楽町が、歴史的風致維持向上のための整備に着実に取り組んだ成果が結実したものであり、今後も良好な景観形成に資する施策や地域との連携により、一時のブーム的な来訪に偏重することなく、より多くの人々に町の歴史的風致を認識し関心をもってもらえるよう努めることが必要と考えられる。</p> <p>・来訪者に甘楽町の歴史的な風致に触れてもらうため、あるいは地域の歴史的風致の環境づくりや関心を高めるためには、文化財や地域で引き継がれる行事などの掘り起しとその普及・啓発に努めるとともに、地域住民の力とも方向性を合わせて施設の保存・活用、重点区域の周遊性を高める施設の整備等の新たな施策展開が求められる。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>今後も庁内部局及び地域団体との連携強化を図りながら、町の歴史的風致、良好な景観形成に対する認識を深めてもらうため、必要となる啓発事業や情報発信に取り組んでいく。また、歴史的・文化的資産の掘り起しと重点区域を中心とした各施設間の回遊性向上を図りながら、近隣自治体に存在する資産を結ぶ広域的周遊路線を開拓するなどの施策展開を図る。</p>	